

■火災が起きたら初期消火

消火器の場所を確認



自宅近くの消火器の場所を、3カ所以上、確認しておきましょう。

■負傷者を見つけたら救出・救護

AEDの場所を確認



全国AEDマップ
設置場所等の詳細はこちらをご覧ください

心臓に電気ショックを与え、正常な心拍機能を回復させます。

■声を掛け合って避難

自宅が危険なら避難拠点へ

避難ルートの危険な場所をチェック



区内で震度5弱以上の地震を観測した際に開設します。



落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道に注意しましょう。

■地域で活動する9つの防災会

関町北二丁目防災会／関町北三丁目町会第一防災会／関町北三丁目町会第二防災会／関町北三丁目町会第三防災会／関町北三丁目第二アパート自治会防災部／わかば公園防災会／北裏防災会／都営練馬関町南四丁目第2アパート自治会防災会／武蔵野グリーンタウン防災組織

■西東京市の防災・災害情報
西東京市危機管理課
電話：042-438-4010
HP：右のQRコードからアクセスできます。

- 古い塀に注意
- 消火栓・消火器が少ない
- 階段が不安定なため注意
- がけ崩れに注意
- 電柱が傾いている(道路の内側)
- 古いブロック塀がある

■武蔵野市の防災・災害情報
武蔵野市防災課
電話：0422-60-1821
ラジオ：むさしのFM 78.2MHz
市の公式ツイッター・フェイスブック

■災害時安否確認ボード
(地域の方々の救援・救助のために)

震度5弱以上の地震が起きたとき
①家族が無事で助けを必要としないときは、安否確認ボードを玄関外に3日間以上掲示してください

②隣近所で、安否確認ボードが出ていないお宅があれば、優先して声掛けをしてください

※安否確認ボードは、冊子「防災の手引」に入っています。ご自宅にない場合は、練馬区のホームページから印刷しましょう。

《地域の皆さんからの声》
[日頃から行動したり、考えたりしておくこと]
・延焼火災が起こりうる古い住宅が密集しているエリアには気をつけましょう
・消火栓のない道路には気を付けよう
・街頭消火器の場所を確認しておこう
・地域の防災拠点・防災資器材格納庫を確認しておこう
・各自1週間(せめて3日間)の備蓄をしよう

[災害が発生したら、気をつけること]
・コンビニやAEDがある施設を活用しよう
・防災会が行う近所の高齢の方の安否確認を手伝おう

■練馬区の防災・災害情報
練馬区危機管理室区民防災課
電話：03-5984-2605
HP：右のQRコードからアクセスできます。

凡例
各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- 消防署出張所
- オープンスペース、広い駐車場等(落下倒壊のおそれの少ない場所)

もしものときの避難する場所等

○必ず確認してほしい場所
■避難拠点 ■近隣自治体避難場所
■狭い道路
●地震発生時に注意が必要なエリア

○家族等との待ち合わせ場所
■避難拠点入口
■公園・児童遊園 ■緑地等
■診療所、病院(主な診療科を記載)

災害時に役立つ情報、資源

○必ず確認してほしい場所

- 消火器
- AED
- 防災会防災資器材格納庫
- 市民消防隊防災資器材格納庫
- 消防分団格納庫
- ミニ防災井戸(生活用水)
- 防災井戸
- 地下貯水槽(5t)
- 消火用貯水槽(40t以上)
- 消火栓
- スタンドパイプ
- 防災無線(放送塔)

防災会防災資器材格納庫には、救出救護や初期消火のための資器材が入っています。防災会防災資器材格納庫の開錠については、防災会長または防災会役員におたずねください。

(例) ■担架・レスキューカー } 救出・救護
■バール・ハンマー } 救出・救護

■軽可搬ポンプ } 初期消火
■スタンドパイプ } 初期消火

貯水槽や消火栓は、初期消火を行う際の水源になります。

※本マップは、ワークショップ参加者の意見を基に作成しています。この他にもお付きの情報を書き込んでみてください。 測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs128

①情報収集

練馬区ホームページ
ねりま情報メール(要登録)
最新の気象情報を区のホームページやねりま情報メールで確認しましょう。(上記のQRコードから確認できます)

②避難の判断と準備

浸水に備え、土のう・水のう・止水板の準備や、強風に備え、雨戸・シャッターを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ

避難の呼びかけやお年寄りの避難支援など、近所の皆さんで助け合いましょう。

④早めの避難

自身と家族の身の安全を十分に確保しながら、貴重品や食料、毛布等を持参し、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。

■石神井川沿いの地域
石神井川は、短時間の豪雨で急に水位が上がり、氾濫することがあります。右上のQRコードから水位計を見ることができます。
石神井川のライブカメラの映像を右下のQRコードから見ることができます。
川の氾濫より前に、降った雨が排水しきれずに冠水することもあります。
東京都水防チャンネル - YouTube

■西東京市の防災・災害情報
西東京市危機管理課
電話：042-438-4010
HP：右のQRコードからアクセスできます。

防災無線自動音声
応答サービス
防災無線から放送された内容を、電話で確認することができる「防災無線自動音声応答サービス」を行っています。
24時間以内の放送内容が確認できます。
電話(通話無料)：0120-707-111
※また、防災無線の放送内容を文字化して、「ねりま情報メール」で自動配信するとともに、区のホームページでも確認できます。

《地域の皆さんからの声》
[日頃から行動したり、考えたりしておくこと]
・水害ハザードマップの見方を確認しておく
・街を歩いて、道路の高低差を確認しておく(水が溜まりやすい道路は冬期に路面凍結することがあります)
・排水溝に枯れ葉が溜まったら掃除しておく
・避難先を確認しておく
・防災情報の収集方法を確認しておく
[災害が発生したら、気をつけること]
・近所の高齢の方へ避難の呼びかけをしよう
・低い位置にある道路での避難は避けよう

土砂災害警戒区域()
土砂災害が発生した場合に、生命や身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域
土砂災害特別警戒区域()
上記区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められる区域



凡例
もしものときの避難する場所等
避難所
※降雨状況や地域の危険性に応じ(A)→(B)→(C)の順に避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況を区ホームページ等でご確認ください。
避難所(危険がさらに高まった場合)
※河川の氾濫・浸水深の危険性がさらに高まった場合は、()の避難所の他にも区立小中学校を避難所として開設することがあります。
避難所入口

災害時に役立つ資源
防 防災会防災資器材格納庫
市 市民消防隊防災資器材格納庫
消 消防分団格納庫
AED (事前に使える時間帯を確認しておきましょう)
準備・避難時に必要な情報
水位警報塔
防災無線(放送塔)
土のうステーション
水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等
交番
保育園
幼稚園
福祉施設等
公衆電話
コンビニエンスストア
郵便局
公園・児童遊園
緑地等

